

# なかとんべつ 町議会だより

Volume

# 201

平成30年4月25日発行



4月6日 小学校入学式



4月2日 認定こども園入園式



4月6日 中学校入学式

第1回定例会議決結果の一覧 .....	3
私たちの一般質問 .....	4
議案審議のあらまし .....	9
議員だより～私の思い～ .....	10
平成30年度予算の内容 .....	11
予算審査特別委員会 .....	13
いきいきふるさと常任委員会報告、 第1回・第2回臨時会結果 .....	15
議員の活動実績・議会の動き・あとがき .....	16



## 平成30年 第1回 定例会

平成30年第1回定例会が、3月1日から14日まで14日間の会期で開かれました。

招集日3月1日の行政報告で、町長から次の2点が報告されました。

1. 平成28年4月から開始しているリハビリテーションについて、平成30年度から要支援者及び要介護者は、医療保険から介護保険に移行することになるため、介護保険でも適用できるよう認可申請の準備を行っている。介護保険に移行することで実施期間の制約が解消され、より一層サービスの充実が図られることになる。なお、入院している要支援者、要介護者は従来のとおり医療保険の適用となる。
2. 平成29年度の普通交付税において、基準財政収入額に係る市町村民税法人税割の数値過大算定により交付額が大幅に減少しました。その後11月に交付税検査と併せて事前調査が実施された結果、法人税割の錯誤、修正額として平成29年度交付税での影響額は2億6,394万9千円となる予定で、平成29年度減収補てん債借入れ、平成30年度での普通交付税の錯誤と修正額の精算、さらに特別交付税での交付の3種類にて全額措置される予定である。また、法人税割の3カ年かけ精算するという制度により、平成30、31年度にも影響が出るが、その影響額についても総務大臣修正額として整理されることになる。

3月1日、2日には、条例案等22議案と平成29年度各会計補正予算8議案を原案可決しました。

3月11日に開催されたサンデー議会では、開議前に東日本大震災から7年目を迎える日となるため黙とうを捧げ、その後、小林町長が平成30年度町政執行方針、田邊教育長が教育行政執行方針を表明、一般質問を通じて6名の議員が町長、教育長の所信を質（ただ）しました。

本会議休会中の3月12日～14日、平成30年度各会計予算案を全議員で構成する「予算審査特別委員会」（長谷川克弘委員長）で審査。全8会計予算を原案可決し、本会議に報告。再開された本会議で原案可決、全日程が終了し3月14日に閉会しました。

# 第1回定例会で 決まりました



## 議決結果の一覧

- 承認第1号 専決処分の承認を求めることについて(中頓別町教員住宅宿舎新築工事 平成29年12月15日専決)
- ※○は承認
- |                                    |                                 |                                 |                                  |                                 |                                    |                                 |                                |                               |                                   |                                   |                                  |                              |   |                              |                               |
|------------------------------------|---------------------------------|---------------------------------|----------------------------------|---------------------------------|------------------------------------|---------------------------------|--------------------------------|-------------------------------|-----------------------------------|-----------------------------------|----------------------------------|------------------------------|---|------------------------------|-------------------------------|
| ○議案第15号<br>医師及び看護師等の養成に関する条例(一部改正) | ○議案第13号<br>酪農振興支援条例(一部改正)       | ○議案第12号<br>新規就農者誘致特別措置条例(一部改正)  | ○議案第11号<br>危険廃屋解体撤去助成条例(一部改正)    | ○議案第10号<br>民間賃貸住宅建設促進助成条例(一部改正) | ○議案第9号<br>住宅建設促進助成条例(一部改正)         | ○議案第8号<br>後期高齢者医療に関する条例(一部改正)   | ○議案第7号<br>介護保険条例(一部改正)         | ○議案第6号<br>国民健康保険条例(一部改正)      | ○議案第5号<br>妊婦健康診査等の助成に関する条例(一部改正)  | ○議案第4号<br>不妊治療費助成事業に関する条例(一部改正)   | ○議案第3号<br>障がい者等就労促進助成条例          | ○議案第2号<br>奨学金等償還支援条例         | ○議案第1号<br>専決処分の承認を求めることについて(中頓別町教員住宅宿舎新築工事 平成29年12月15日専決) |                              |                               |
| ○議案第32号<br>平成30年度水道事業特別会計予算        | ○議案第31号<br>平成30年度国民健康保険病院事業会計予算 | ○議案第30号<br>平成30年度国民健康保険事業特別会計予算 | ○議案第29号<br>平成30年度自動車学校事業特別会計予算   | ○議案第28号<br>平成30年度一般会計予算         | ○議案第27号<br>平成29年度後期高齢者医療事業特別会計補正予算 | ○議案第26号<br>平成29年度介護保険事業特別会計補正予算 | ○議案第25号<br>平成29年度下水道事業特別会計補正予算 | ○議案第24号<br>平成29年度水道事業特別会計補正予算 | ○議案第23号<br>平成29年度国民健康保険病院事業会計補正予算 | ○議案第22号<br>平成29年度国民健康保険事業特別会計補正予算 | ○議案第21号<br>平成29年度自動車学校事業特別会計補正予算 | ○議案第20号<br>平成29年度一般会計補正予算    | ○議案第19号<br>指定管理者の指定                                       | ○議案第18号<br>指定管理者の指定          | ○議案第17号<br>いきいきふるさと推進条例(一部改正) |
| ○議案第38号<br>町道路線の変更                 | ○議案第37号<br>町道路線の認定              | ○議案第36号<br>町道路線の廃止              | ○議案第35号<br>平成30年度後期高齢者医療事業特別会計予算 | ○議案第34号<br>平成30年度介護保険事業特別会計予算   | ○議案第33号<br>平成30年度下水道事業特別会計予算       | ○議案第33号<br>平成30年度下水道事業特別会計予算    | ○議案第33号<br>平成30年度下水道事業特別会計予算   | ○議案第33号<br>平成30年度下水道事業特別会計予算  | ○議案第33号<br>平成30年度下水道事業特別会計予算      | ○議案第33号<br>平成30年度下水道事業特別会計予算      | ○議案第33号<br>平成30年度下水道事業特別会計予算     | ○議案第33号<br>平成30年度下水道事業特別会計予算 | ○議案第33号<br>平成30年度下水道事業特別会計予算                              | ○議案第33号<br>平成30年度下水道事業特別会計予算 | ○議案第33号<br>平成30年度下水道事業特別会計予算  |

## 議会を傍聴しましょう

議会は、町民の暮らしに直結する税や福祉などの身近な問題を議論する大切な場です。

議会では、議会だよりで情報の提供に努めていますが、町政の動きを定例会や各種委員会を実際に傍聴し、自らの目と耳で知ることが大切です。

次の定例会は、6月に招集されます。日程は、議会だより臨時号などでお知らせします。

多くの町民のみなさまの傍聴をお待ち申しあげております。

ここが聞きたい、知りたい

# 私たちの一般質問

第1回定例会は、町長が平成30年度町政執行方針、教育長が教育行政執行方針を表明。6議員が一般質問を行いました。

細谷久雄 議員



質問

## ●無人航空機ドローンの積極的活用を

近年、多くの自治体が無人航空機ドローンの活用を本格化しようとしている。ドローンはまだ開発が進んでいないところだと思いが、防災対策への活用・広報用写真の空撮等、様々な分野で大きな可能性が期待される。

町民の生命と財産を守る安全・安心な町づくりを進める中、予想のつかない自然災害による被害を最小限に食い止める方法の一つとしても、ドローンを導入・活用してみてはいかがか。

答 弁 ○小林町長

無人航空機ドローンについては、様々な取り組みがされており、その活用については注目されるところであり、導入にあたっては観光、災害時の状況把握や救助対策、設備の点検等人的的

ストの削減等、様々な効果が期待される場所です。しかし、その活用課題も多くあり、今後、多方面から情報収集して検討してまいります。なお、管内の所有状況としては、枝幸町に1台、消防では利尻富士町で所有しています。が、操縦が難しく故障もいたため、実際の災害において使用は困難との状況です。豊富町ではドローン撮影する町内業者と災害応援協定を結んでいます。が、悪天候下の撮影は困難で、撮影費用は10分程度で8万から10万円程のことです。

質問

## ●貧困家庭の学力格差について

貧しい家庭で育っても立派な大人に成長する人もいれば、逆に裕福な家庭に育っても不幸な大人になる人もいます。しかし、現代社会では貧困家庭に育つ子供が温かい幸せな家庭に恵まれ、経済的に成功する確率は低い。日本財団は、貧困状態にある子どもの学力は小学4年を境に、家庭の貧富の差による「学力格差」が急激に拡大する傾向があるという分析結果を発表したが、教育長の思いと中頓別町の子どもたちの現状を伺います。

答 弁 ○田邊教育長

貧困による「学力格差」はあつてはならないと思います。この調査では、

貧困世帯でも、学力の高い子どもは生活習慣や学習習慣などを身につけている傾向があると分析しています。子どもたちに「早寝早起き朝ご飯、それぞれの学年+10分を目処とした学習習慣を啓発すること」は大きな意義があると思います。中頓別町は、就学援助、給食費の補助、各種教育活動の支援は充実しており、給食費、PTA会費や生徒会費等の滞納はありません。中頓別町の子どもたちが10歳を境に貧困による学力差が生じているとは認識していません。

西浦岩雄 議員



質問

## ●人財塾について

スーパー公務員木村俊昭氏を講師に招いて人財塾を開講しました。町長はこの人財塾に何を期待して、また、どのような目的で人財塾を開いたのか。

また、長いスパンで継続して若手職員を養成していくようにできないか。さらに人財塾で醸成された奇抜なアイデアなど、若手職員自ら発想して企画立案する職員は敬遠されがちになるが、素晴らしいアイデアをもっている可能性がある。町長として長い目で見てサポートできるか伺いたい。

**答 弁** ○小林町長

人財塾について、人口減少問題に立ち向かう地方創生対策として、町職員に対する講義、実践学習の中から調査、分析力などのスキルアップを図り、自らの地域の活性化を推進できるリーダーとなるための職員を育成する。併せて、地域のキーパーソンも交えた対話、討論を行う中から地域活力の発掘、再発見、今後の地方創生方策を見出ししていくことを目的に実施してきました。日常課せられた実務を確実にこなしながら、この新たな課題に取り組むのは職員にとって負荷のかかることなので大変だが、先輩職員や周りの職員の理解を得ながら、実践できるようにしていきたい。日常の業務をこなしたうえで、自らの課題に対して取り組んでもらいたい。

佐藤 奈緒 議員



**質 問**

●台湾との国際交流について

平成29年第2回定例会で、星川議員より質問のあった台湾との国際交流だが、その時の答弁で今後の見通しについて、本町にとって有益と見込まれる事業展開が出来れば進めていきたいと言われているが、今年も引き続き行う意向はないのか。また、この様な重要な事業は、議会や町民も含め十分な計画を立ててから行うべきだったのではないか。町長の見解を伺う。

**答 弁** ○小林町長

昨年実施した台湾の中華大学生のインターンシップ受け入れ事業については、本町を含めた道北の観光資源が外国人観光客の視点からも受け入れられるものであるということが認識できたことや、今後の施設の整備改修やイン

ターネット環境の整備等の課題が明らかになる等の成果があったものと総括している。中華大学受け入れ事業に対して、今年度はまだ先方の希望等について確認している状況ではない。当方としても、昨年度の事業実施の中で、費用、受け入れる側の準備体制等々課題もあるため、担当課と相談して検討する。また、中華航空関係者との事業展開については、相手方と本町が目指す観光プログラムの考え方に隔たりがあるため、今後の事業展開は難しいと考えている。昨年度に将来展開を十分に考えた上で協定を結ぶことも必要であったが、基本的には中華大学との協定で、将来における可能性を考える段階ということで実施させてもらった。今後は議会ともしっかり協議をした上で決めていきたい。

東海林 繁幸 議員



**質 問**

●町政執行方針、4子育て支援、教育の充実から

国も検討を進めている幼児教育の無償化（保育料の無償化）に踏み込むべきと考えますが、義務教育では、給食費の無償化を検討すべき時期と考えますか。

**答 弁** ○小林町長

子育ての負担をできるだけ軽減したく考えているが、子どもの教育全体の充実に向けていると考えている。保育料は国の基準の3分の1程度にし、給食費も今年度から保護者負担を半額とした。英語教育の充実、中学生の海外研修派遣等も実施する。当面は現状のまましたいが給付やサービスなどの充実に取り組みます。

**質 問**

●2産業振興、地域経済の活性化と社会資本の整備から

基幹産業と位置付けられている酪農は、この町にとって本場に基幹産業ですか。35戸の農家に対する町の農業予算は莫大なものですか。町としてこの実態を農家の皆さんに知ってもらおう努力をしていますか。福祉施設の関係者、商工業の人々、年金生活者の営みをどう評価していますか。

**答 弁** ○小林町長

基幹産業が農業であることは現在も変わらないと考えます。福祉の分野がこの町の人口、経済を支える大きな存在になっていく。また、商店数も減少しているだけに、商工業の振興も重要な課題です。人口の4割近くを占める高齢者の皆さんは、この町を創ってきた人たちで大切にいたします。医療、保健、介護、福祉が連携した地域包括ケアをしっかり確立し、各産業領域のバランスを考えた町づくりをします。

**質 問**

●教育行政執行方針4生涯学習の振興について

- (1) 社会教育主事の役割とあるべき姿について伺います。
- (2) 専門的教育職員を配置しながら、必要な知識、技能が不十分とはどういう意味ですか。
- (3) この町の生涯学習はどのようなになりますか。

**答 弁** ○田邊教育長

- (1) 社会教育主事は、地域の社会教育行政中核として、企画や助言指導を通して人々の自発的な学習活動を援助する役割があると認識しています。
- (2) 発令した社会教育主事はまだ経験も浅く、幅広い社会教育の領域を十分カバーできていない現実があります。

今後は研修と経験を活かし、各団体の助言、指導に当たれる環境作りをいたします。

(3) 町民の自発的な学習活動が振興し、文化、体育団体を維持、向上する生涯学習を思い描いています。

星川 三喜男 議員



**質 問**

●町長任期の最終年度にける決断は

町長に就任して、任期もあと1年となり、今までの3年間の反省点と最終年度にける最重要課題は何でしょうか。

**答 弁** ○小林町長

この3年間、子ども・子育て支援、福祉のまちづくり、経済再生を柱に私なりに精一杯取り組ませて頂きました。反省点は事務における度重なるミスの発生を防ぐことが出来ず、安定した組織体制づくりが未完のままです。最

重点課題として、3年間で検討を重ねてきた観光地域づくりと、ライドシェアを含む地域公共交通の課題解消で、しっかりとした方向付けと仕組みづくりに取り組むたいと考えている。合わせて、町組織の体制強化に取り組んでいく考えです。

**質 問**

●民間アパート等、建設補助金の増額について

民間アパート建設促進助成条例の期限を3年間延長し、町内業者を使って建設した場合、補助金を50万円上積みし、一戸あたり3百50万円とする改正案が提案されている。公営住宅の入居者が常時募集されている状況下で需要はあるのか。また民間アパート建設と何か関係があるのか伺う。

**答 弁** ○小林町長

民間アパートは、これまでの5年間で6棟38戸の住宅が整備され、現在は満室状態と聞いている。この春も転入者の希望する住宅の不足が見込まれており、新たに建設される民間住宅の需要があると考えられます。あくまで民間の力を借りて地域に必要な住宅を確保するという趣旨で、この事業を位置づけています。今回の助成金の限度額の上積みは、町内建設業者の受注機会確保を目的として、3年間延長と合わ

せて改正したい考えです。

**質 問**

●教育行政執行方針から

認定こども園への園長配置に、退職校長の再任用者を起用するとあるが、仕事を作っても現状の人員で工夫すべきではないか。園長配置により、人件費、組織体系はどうなるのか。今後も退職教職員の天下り先として、人材を受け入れるのか伺う。

**答 弁** ○田邊教育長

園長配置は、臨時職員としての採用です。教育には「不易と流行」があり、認定こども園は職員の異動がないことから「不易」が続いているように感じ、そのため「流行」には、外部人材の配置が必要と考えます。遊具や自然環境を用いた体力の向上等、新しい発想や取組を期待しています。外部人材の配置により、人件費は教育委員会事務局費、組織体系は教育委員会参事として認定こども園の園長を務め、現園長は副園長となります。

今後も教育の質を高める観点から、しっかりとした人材を確保したいと考えています。

宮崎 泰宗 議員



質問

●教育行政執行方針から、寿スキー場の改修について

新年度予算では、寿スキー場のリフトを一人乗りから二人乗りへ更新するために2億5千万円、ロッジのトイレ改修に5千万円が計上されているが、実現すれば今後はリフト関連の維持費等も増えることになるのではないかと、スキー場利用者の実績についてはいかがか。

利用者の安全は第一であるが、事業費3億円は町民一人当たり17万円もの負担となり、スキー場を利用しない町民には過大な投資と映るのではないかと。

答 弁 ○田邊教育長

リフトの維持管理費についてはこれまでとさほどかわらない。近年のリフト利用実績は、延べ人数で平成27年度

35045人、平成28年度37162人、今年度は2月末時点で35625人と増減を繰り返しながら減少傾向が続いているが、老朽化が進んでいることなどから、利用者の安全を考慮してリニューアルするものである。  
ペアリフトは、園児や小学校低学年の児童が保護者や教育支援員と同乗することが可能となり、リフトの乗車場所は平坦となることや落下防止機能が付くことから利便性や安全性が向上する。これらのことを周知して利用者の増加を図る所存である。

質問

●ハワイでの中学生語学研修について

教育行政執行方針には、今年の夏休みに中学2、3年生の希望者を対象にハワイでの語学研修を検討していることあり、来年度以降は2年生を対象に毎年実施とあるが、全体事業費はいくらになり、今後も継続できる財源はあるのか。

また、銃社会であり、銃乱射事件が絶えないアメリカではない他国という選択肢はないのか。

答 弁 ○田邊教育長

平成30年度は、中学校2年生が10名、3年生が15名、関係職員(教員、英語指導助手、教育委員会関係者)5名、計30名(中学2・3年生は全員希望)

を見込み、事業費用は900万円程となる。財源は、「未来を担う子ども健康育成と教育基金」を充当する。

研修場所は、ALTがハワイ出身であることからアメリカを選択したが、今後は、カナダやオーストラリア、ニュージーランドも選択肢とすることを検討していく。

答 弁 ○長尾総務課参事

基金の残高は、補正前の時点で2千420万円となっており、語学研修等の費用として3年分に相当する。今回の補正予算ではさらに4千500万円を追加計上したが、交付税減額に伴う減収補てん債の借入を最小限とした場合、積み立てられない可能性もある。

質問

●町政執行方針から、人口減少対策について

相も変わらず町政執行方針で人口減少対策を謳っているが、効果的な施策等については明記されておらず、この町で生まれ育った町民でさえ、町内での雇用等がありながら、毎年のように町を去っている現実をどう捉えているか何う。

また、公設民営のスーパーやコンビニが何億もかけて設置されている自治体があることから、行政施設等だけでなく、民間の事業所なども町のイ

ンフラであり、事業者の減少も人口流出と密接に関わっているという認識はお持ちか。

答 弁 ○小林町長

生まれ育った町を離れる方々には、子どもが離れた町にいたりとか、専門的な治療を要する病気になるってしまったとか、それぞれの事情や思いがあると思うが、少なくとも、この町で暮らし続けたいという思いにはしっかりと応えるまちづくりをしていかなければならないと考えている。またそれ以上に、ひとりでも多くの方々に住みたい、暮らしたいと思ってもらえるまちづくりが重要と考えている。

町民の生活に重大な支障をきたさぬよう、事業継承などの制度を有効に活用し、町のインフラである商業施設等の確保に取り組んでいきたい。

質問

●観光について

観光まちづくり組織の常勤職員として地域おこし協力隊を募集していたようであるが、町民が驚くほどの破格条件に見合う人材は見付かったのか。すでに決定し、町内で歓迎会を開いたという話もあるが。

今回の職員募集の中でも、今秋までに組織を設立することになっているが、新たな組織で想定している温泉施設な

どの運営については、新年度も現在の指定管理者が継続することに決まった状況で、組織化は可能といえるのか。

**答 弁** ○小林町長

新たに設立を予定している観光まちづくり組織の職員として、専務理事と統括マネージャー各1名を昨年12月から募集し、書類選考を経て2月上旬に16名の方と面接を行っており、現在は最終選考中という状況である。選考の関係については、歓迎会ということではなく、最終面接は町内という考えから、候補者2名との食事会も取り入れ実施した。早急に選考を終了し、新たな組織の設立に向けた取り組みを進めていきたいと考えている。

現在の指定管理の状況をどのような形で引き継ぐかは、まだ明確にはなっていないが、いずれにしても組織化については予定通り実施したいと考えている。

## 質 問

### ●障がい福祉について

障がい者等就労促進助成条例が提案されており、知的障がい者等を事業所が雇用すれば最低賃金（1時間810円）の半額を事業主に助成する内容となっているが、補助金の使途は決められておらず、事業主の生活費や事業所の運営費にあてられる可能性があるのか。

ではないか。はたして障がい者のための条例といえるのか。

**答 弁** ○小林町長

本条例は、障がい等のある方々の就労機会の拡大及び安定した雇用環境の創出を目的に、事業者が障がい等がある従業者を支払った賃金に対し助成するもので、国においても同じような助成制度はあるが、対象範囲の制限や就労時間等の基準、さらには雇入れの際にハローワーク等を経由しなければならぬといった条件があることから、町独自の制度を創設し、障がい等がある方々を雇用する機運の醸成や就労機会の拡大、賃金水準の向上を推進するものである。

国の助成制度の該当とならない障がい者や、精神疾患患者、ひきこもり等の方や、週20時間未満の短時間労働であっても助成の対象とすることで、障がい等のある方々が1時間からでも働くことができ、職を通じた社会参加の促進や就労機会の拡大、職場への定着が期待できるものと考えている。

## 質 問

### ●財政の運営について

事務のミスにより平成29年度の普通交付税2億5千万円が不交付となっており、新年度に交付されるという確証はあるのか。仮に交付額が当初算定

額より減額された場合、町長はどのように責任をとられるのか。

なぜ減収補てん債という、いわゆる

借金をする必要があるのであるのか。借金の返済は平成49年度までかかり、利子分の負担が生じる見掛け倒しの悪策ではないか。平成34年度までの5年間で是正される方法をとるべきではなかったのか。

**答 弁** ○小林町長

昨年11月に実施された事前調査の結果、法人税割の錯誤、修正額としての平成29年度交付税での影響額は2億6千394万9千円となる予定で、平成29年度に減収補てん債の借り入れ、平成30年度に普通交付税の錯誤及び修正額の精算、特別交付税の交付により全額措置される予定である。

また、法人税割は3力年かけて精算していくという制度であるため、後年度への影響額はありますが、普通交付税算定での総務大臣修正額として、平成30年度及び平成31年度にて整理されることとなっている。

**答 弁** ○長尾総務課参事

たしかに減収補てん債の返済は平成49年まで続くことになるが、そのうちの75%は交付税で、25%は総務大臣修正額として措置され、実質的な町の持ち出しはその利率分でも最大でも2万3千円と軽微であることから平成31年度までに整理される方法を選択した。

## 質疑・質問は要約されています

スペースの都合上、審議した議案や質疑・質問と答弁の内容を要約して載せています。

会議の内容は、会議録に詳細に記録されており、ご覧になりたい方は議会事務局までお問い合わせください。





## 議決審議のあらまし

第1回定例会では、新年度予算など38議案を審議しました。

平成30年度各会計予算は、予算審査特別委員会（長谷川克弘委員長）に付託して審査され、全会計原案どおり可決しました。

平成29年度各会計補正予算とその他の条例改正案等は本会議・いきいきふるさと常任委員会で審議され、すべて原案どおり可決しました。

### 3月1日議決

○承認第1号 専決処分の承認（教員住宅宿舍新築工事 12月15日専決）

教員住宅宿舍新築工事の請負契約金額の変更に係る承認。

○議案第20号 一般会計補正予算

歳入歳出の総額にそれぞれ8千555万円を追加し、予算の総額は35億4千562万円に。

決算見込に基づく追加、減額のほか、国保病院に対する繰出金1億223万円を追加して総額3億2千237万円に。基金費では、未来を担うこどもの健全育成と教育の基金費に4千500

万円を積み立て、総額1億2千271万円とするもの。

○議案第21号 自動車学校事業特別会計補正予算

歳入歳出の総額にそれぞれ154万円を追加し、予算の総額は3千501万円に。

歳出では、決算見込に基づく追加、減額のほか、教習生の増による賃金と燃料費の追加。歳入では、教習生の増により使用料を追加して、総額2千252万円とするもの。

○議案第22号 国民健康保険事業特別会計補正予算

歳入歳出の総額からそれぞれ795万円を減額し、予算の総額は3億3千746万円に。

歳出では、決算見込みに基づき保険給付費等を減額。歳入では、一般会計からの繰入金を225万円追加して、総額1千716万円とするもの。

○議案第23号 国民健康保険病院事業会計補正予算

病院事業収益は、収入で入院・外来収益合わせて1億1千2万円を減額。一般会計繰入金として1億223万円

を追加し、繰入金総額3億2千71万円に。収入総額は5億2千219万円に。支出では、雑損失に264万円を計上し、総額5億2千219万円に。

○議案第24号 水道事業特別会計補正予算

歳入歳出の総額からそれぞれ100万円を減額し、予算の総額は8千943万円に。

決算見込みに基づき、燃料費、電気料、委託料等を減額するもの。

○議案第25号 下水道事業特別会計補正予算

歳入歳出の総額からそれぞれ32万円を追加し、予算の総額は9千148万円に。

一般管理事業の下水道事業会計消費税を追加するもの。

○議案第26号 介護保険事業特別会計補正予算

歳入歳出の総額からそれぞれ609万円を追加し、予算の総額は2億2千968万円に。

決算見込に基づく追加、減額。

○議案第27号 後期高齢者医療事業特別会計補正予算

歳入歳出の総額からそれぞれ43万円を減額し、予算の総額は2千789万円に。

広域連合納付金等を減額。

○議案第4号 不妊治療費助成事業に関する条例（一部改正）

不育症治療に関する治療費及び交通費の助成を加えるもの。

○議案第5号 妊婦健康診査等の助成に関する条例（一部改正）

産婦健康診査に関する健康診査及び交通費の助成を加えるもの。

○議案第6号 国民健康保険条例（一部改正）

国民健康保険運営協議会の委員定数の改正と葬祭費及び出産育児一時金の支給額を改正するもの。

○議案第7号 介護保険条例（一部改正）

介護保険料を改正するもの。

○議案第8号 後期高齢者医療に関する条例（一部改正）

法律の改正に伴い改正するもの。

○議案第9号 住宅建設促進助成条例（一部改正）

更なる住宅建設を促し、町民の持ち家建設を促進するため改正するもの。

○議案第10号 民間賃貸住宅建設促進助成条例（一部改正）

更なる民間賃貸住宅の建設促進を図るため限度額を増額し、3年間延長するため改正するもの。

○議案第11号 危険廃屋解体撤去助成条例（一部改正）

町内の廃屋化した建物を解体撤去する者に対し、経費の一部を助成する条例を5年間延長するもの。

○議案第12号 新規就農者誘致特別措置条例（一部改正）  
新規就農者の経営の早期安定化と誘致促進を図るため改正するもの。

○議案第13号 酪農振興支援条例（一部改正）  
譲渡希望者から経営開始に必要な農用地、施設、機械、住宅を譲渡した者に譲渡協力金を交付し、新規参入者の受入の促進を図るため改正するもの。

○議案第14号 自動車学校運営に関する条例（一部改正）  
高齢者講習等の講習手数料について、道交法施行令と同額の講習料を徴収するため改正するもの。

○議案第16号 いきいきふるさと推進条例（一部改正）  
移住定住促進事業として内容の充実を図り、期限を延長するため改正するもの。

**3月22日議決**

○議案第17号 指定管理者の指定  
山村交流施設の指定期間を1年延長するもの。

○議案第18号 指定管理者の指定  
ピンネシリ温泉の指定期間を1年延長するもの。

○議案第19号 指定管理者の指定  
鍾乳洞自然ふれあい公園の指定期間を2年延長するもの。

○議案第36号 町道路線の廃止  
町道松音知8号線、延長263mを廃止するもの。

○議案第37号 町道路線の認定  
町道7丁目仲通り線、43mを認定するもの。

○議案第38号 町道路線の変更  
町道あかね2条通り線の終点と延長を変更するもの。  
（いきいきふるさと常任委員会 付託事件）

○議案第15号 医師及び看護師等の養成に関する条例（一部改正）  
医師や看護師、保健師、助産師の他、医療技術者及び福祉技術者の養成を行うため改正するもの。

○議案第2号 奨学金等償還支援条例  
医療技術者や福祉技術者の奨学金に対する償還支援制度を制定し、町職員として優秀な人材確保につなげるべく条例を制定するもの。

○議案第3号 障がい者等就労促進助成条例  
障がい者等の就労促進と職場への定着を図るため、障がい者等を雇い入れる事業者に対し、助成金を交付する条例を制定するもの。

**【審査意見】**

障がい者等就労促進助成は、国の助成制度を優先して活用するよう望む。

**議員だより ～私の思い～**

このコーナーは、それぞれの議員が町づくりや議会活動などについて思いを綴るものです。

**『18歳選挙権と住みよさ町づくりへの思い』**

平成28年度から選挙権を付与する年齢が18歳に引き下げられました。18歳、つまり一般的に言えば、高校生、大学生、あるいは社会人として出発する時点で、政治に参画する意識を若い人たちに持つてもらおうことが、昨今の政治離れ、投票率の低下に歯止めをかけるかもしれない。そして、国政、町政も若返ってほしい。その分若い人たちは、自分たちもこの国、町を造っていくのだと確固たる意識と見識を持たなくてはいけない。また、若者が住みたいと思えるような町づくり、高齢者の方が安心して歩ける町づくりをするには、町民と行政が一体となって特に行政側の理事者と議会が車の両輪で、町民のためにお互いに私心を捨て、地域の発展のために知恵を出し合ってよりよい町づくりを進める必要があります。いま、国を挙げて「地方創生」が叫ばれています。「本当に住んで良かった」と言われるような中頓別町づくりのために努力したいと思えます。

最後に、今後も「ブレル」ことなく、議会活動や地域の課題に積極的に取り組み、2期目の議員という皮を脱ぎ捨て、中頓別町民の幸せのために、町民の皆様の心を我が心として、全力投球する覚悟であります。

（綴人 細谷久雄）

**ホームページで議事録などを公開しています**

中頓別町のホームページ（<http://www.town.nakatombetsu.hokkaido.jp>）で議会だより、定例会の議事録などを公開しています。町ホームページから（行政情報）（議会）へ進みご覧ください。議会はみなさんの暮らし、福祉などの身近な問題を議論する大切な会議です。議会日程や傍聴の手続き、請願・陳情などのお問合せは、Tel 6-2244（議会事務局）へ。

# 平成30年度 8会計予算成立

## ～総額52億2,333万円～



予算審査特別委員会（長谷川委員長）

一般会計をはじめとする平成30年度8会計予算案は、全議員で構成する「予算審査特別委員会」（長谷川弘委員長）に審査を付託。  
特別委員会では、3月12日（14日に審査を行い、原案可決。14日、再開された本会議で長谷川委員長から報告され、審議の結果、委員長報告のとおりすべて原案可決しました。

### 平成30年度予算編成内容

本年度の予算総額は、52億2,333万円で前年度比5億5,115万円（11.8%）の増加となりました。一般会計は、前年度比5億739万円（15.0%）の増額であります。

歳入では、大半を占める地方交付税については、国の地方財政計画上での減額見込みにより、前年度比957万円の減額としています。国庫支出金では、道路橋梁費補助金や公営住宅建設事業費補助金の増額などにより4,918万円の増額、道支出金では、深地層研究施設周辺地域特別対策事業補助金や地域自殺対策緊急強化推進事業補助金の増額などにより3,191万円の増額、町債については、寿スキー場リフト・ロッジ整備事業の増額により3億7,134万円の増額となっています。歳出では、物件費で観光振興計画委託料やJアラートシステム機器整備費用、臨時職員の賃金などの増額計上により前年度比7,273万円の増額となり、補助費では、多機能事業所作業所建設工事や民間賃貸住宅建設補助、南宗谷消防組合負担金の増などにより1億6,460万円の増額、普通建設事業では新規事業として金庫の沢線交付金事業やコテージ、ふるさと生活体験館の改築費用を計上、継続事業として寿スキー場リフト・ロッジ整備事業、林業専用道などにより3億671万円の増額となりました。

財政健全化に努力したことにより、収入に占める公債費が減少しましたが、収入の多くを占める地方交付税については依然不透明な部分が多く、予算執行にあたっては、行政サービスを低下させることなく効率性を追求しながら収支均衡を実現することが求められています。

### ■各会計予算の状況

（単位：万円）

会計別	年度別	平成30年度 予算額	平成29年度 予算額	比較	
				金額	率%
一般会計		38億8,645	33億7,905	5億740	15.0
自動車学校事業特別会計		3,486	3,306	180	5.5
国民健康保険事業特別会計		2億8,045	2億7,232	813	3.0
国民健康保険 病院事業会計	収益的収支	5億4,760	5億2,759	2,001	3.8
	資本的収支	2,451	3,679	▲1,228	▲33.4
水道事業特別会計		9,292	8,843	449	5.1
下水道事業特別会計		9,588	9,116	472	5.2
介護保険事業特別会計		2億2,916	2億1,764	1,152	5.3
後期高齢者医療事業特別会計		3,150	2,614	536	20.5
合計		52億2,333	46億7,218	5億5,115	11.8

## ■一般会計

## 歳入

(単位：万円)

款	30年度	29年度	比較	増減%
町税	15,629	15,734	▲105	▲0.7
地方譲与税	4,873	4,873	0	0
地方交付税	193,386	194,343	▲957	▲0.5
使用料手数料	8,688	9,836	▲1,148	▲11.7
国庫支出金	30,044	25,125	4,919	19.6
道支出金	17,762	14,571	3,191	21.9
財産収入	928	893	35	3.9
繰入金	14,970	8,581	6,389	74.5
諸収入	6,019	4,876	1,143	23.4
町債	90,406	53,272	37,134	69.7
その他	5,939	5,801	138	2.4
合計	388,644	337,905	50,739	15.0

## 歳出

(単位：万円)

款	30年度	29年度	比較	増減%
議会費	4,366	4,421	▲55	▲1.2
総務費	57,760	57,853	▲93	▲0.2
民生費	76,638	67,873	8,765	12.9
衛生費	39,221	38,670	551	1.4
労働費	6	6	0	0
農林水産業費	22,996	20,823	2,173	10.4
商工費	16,954	16,258	696	4.3
土木費	36,651	29,804	6,847	22.97
消防費	17,574	14,531	3,043	20.9
教育費	50,741	19,514	31,227	160.0
公債費	39,052	42,898	▲3,846	▲9.0
諸支出金	26,635	25,204	1,431	5.7
その他	50	50	0	0
合計	388,644	337,905	50,739	15.0

## 予算計上された主な臨時事業

(単位：万円)

科目・会計	臨時事業名	事業費	主な事業内容
総務費	防災対策事業	994	Jアラート伝達システム整備
	全社会資源参加シェアコミュニティ構築事業	2,397	ライドシェア運営事業、その他分野シェア実証試行
民生費	特別養護老人ホーム施設整備助成事業	27,300	特別養護老人ホーム増改修事業に対する補助
	障害者総合支援給付事業	5,226	多機能型事業所作業所建設補助
農林水産業費	森林管理道松麿線開設事業	1,425	道営事業負担金
	林業専用道天北線開設事業	2,000	延長400m、幅員3.5m
商工費	プレミアム商品券発行事業	350	プレミアム商品券発行補助
	観光振興計画フォローアップ事業	5,143	スタートアップ事業委託、コテージ生活体験館改修工事
土木費	中頓別駅向線交付金事業	6,000	延長200m、幅員5.5m、歩道200m
	金庫の沢線交付金工事	6,000	延長140m、幅員5.5m、概略設計
	秋田原野線交付金事業	8,000	延長320m、幅員5.5m、概略設計
教育費	寿野外レクリエーション施設運営事業	25,000	リフトリニューアル工事
	寿スキー場ロッジ等改修工事	5,000	トイレ、バリアフリー化

## 予算審査特別委員会 主な質疑&答弁

### ○一般会計

#### 歳出

##### ■総務費

**問** 公有財産購入費の道営育成牧場用地購入の背景は。  
(東海林委員)

**答** 事業の背景にはメガファーム構想があり、現在北海道農政事務所と協議中である。  
(平中産業課長)

**問** 購入面積はどの程度か。  
(星川委員)

**答** 哺育育成に係る面積は2ha程度だが、除雪敷地等、予算的には6ha程度は可能。  
(平中産業課長)

**問** 町のホームページが変わったが周知はしたか。町民の反応は。  
(宮崎委員)

**答** 先日リニューアルし、本日発行の広報で周知している。具体的な反響はまだない。  
(長尾総務課参事)

**問** 移住定住促進事業に民間アパートの1室を確保しているのか。  
(星川委員)

**答** お試し暮らしと思うが、町内で専属使用は3カ所である。  
(長尾総務課参事)

**問** 防災について、次年度以降の雪害対策は。  
(東海林委員)

**答** 雪害に対する想定はしていなかった。今後準備を進めたい。  
(野露総務課参事)

**問** 町職員による高齢者住宅の除雪を継続する考えはないか。  
(宮崎委員)

**答** 今年は積雪量が多かったので実施した。次年度以降、積雪量に応じた対応を検討したい。  
(吉田保健福祉課長)

**問** 地域資源活用開発業務委託について、委託料に見合う成果が期待できるのか。ふるさと応援寄附事業に繋げる町の思いは。  
(東海林委員)

**答** 雇用と産業を結び付け、雇用に繋げる事業であり、企業誘致も含め製品開発に向け検討し成果を上げたい。  
(長尾総務課参事)

**問** 委託先を含め具体的にないが、地域資源の活用を基本に、しっかりと結果を求めていきたい。  
(小林町長)

##### ■農林水産業費

**問** 農業後継者技能向上対策事業について、周知が遅れた理由と視察の決め方を伺う。  
(佐藤委員)

**答** 視察先との日程調整に時間を要したため周知が遅れ、参加者が集まらなく実施できなかった。視察先は農業関係機関と協議し決めている。  
(平中産業課長)

**問** 農業委員から報酬の増額要請があったというが、報酬等審議会の開催予定は。  
(東海林委員)

**答** 審議会について6月定例会前には1回目を開催したい。  
(小林町長)

**問** 森林施業に関する町内業者の連携と、地産地消の取り組みを推進する考えを伺う。  
(星川委員)

**答** 森林・林業可能性調査の結果を踏まえ、必要な森林整備、林道網整備に取り組み、連携した地産地消の方向を模索していきたい。  
(小林町長)

##### ■商工費

**問** WiFi環境状況調査はピンネシリ温泉のみか、周辺施設も含むのか。  
(西浦委員)

**答** ピンネシリ温泉を中核に各施設に配信しているため、地域全体のインターネット環境を調査する。  
(平中産業課長)

**問** 防災無線基本設計業務に併せ、町内のインターネット環境を整理したい。  
(小林町長)

**問** 商工業費に対する農業振興費の額の違いは何か。  
(東海林委員)

**答** 商工会と連携し、必要な対策は講じていきたい。  
(小林町長)

##### ■土木費

**問** 除排雪事業について、現在の体制を続けるのか、民営化の考えは。  
(細谷委員)

**答** 過去に民間委託を検討した経過もあるが、今後の状況を見据え、民間委託も含め、除雪業務に支障をきたさない体制を検討する。  
(小林町長)

**問** 西団地公営住宅外壁改修工事について、雨漏りの原因を突き詰める必要があるのではないか。  
(東海林委員)

**答** 公営住宅の長寿命化計画に基づき改修を行っているが、雨水が自然浸透するケースは他町でも確認されているので原因を調査したい。  
(山内建設課長)

■教育費

問 認定こども園園長の賃金の決め方は。また、臨時職員の募集は、広報等で公募すべきでは。園長の変更手続きは。(星川委員)

答 賃金は校長の役付再任用の金額を採用した。公募はしていない。道には報告手続きを進めている。(田邊教育長)

問 園長の報酬額について、町の基準に照らし検討できないか。(東海林委員)

答 今回は現職校長を再任用する考え方で基準に基づき金額を採用。(遠藤副町長)

問 園長採用は、町の予算範囲で、募集によりしかるべき人材を確保すべきでは。(東海林委員)

答 校長退職時の再任用という条件でお願いした経緯があり、諸事情を理解願いたい。(田邊教育長)

問 本町の教育の底上げに必要な人材でもありお願いした経緯がある。(小林町長)

問 こういう異例な採用を進める場合には事前の説明が必要であり、所管事務調査等に諮っては如何か。(東海林委員)

答 この件については、もっと早く議会に示し、意見を頂きながら進めるべきであったとお詫びする。(小林町長)

問 人材に対しては全く問題ないが、報酬額に問題がある。従来の算定方法で算出できないか。(東海林委員)

答 当初から条件を示し進めてきているので、ご理解を頂きたい。(田邊教育長)

問 幼児教育向上のために外部人材を投入することで、人間関係に問題が生じないか。なぜ外部人材の登用が必要なのか。(佐藤委員)

答 現状で幼児教育の質の向上を目指すには厳しい状況がある。外部人材を投入することにより、取り組みの変化を期待したい。(田邊教育長)

問 町民センターの渡り廊下の解体費用が高すぎないか。専門で再度積算すべき。(東海林委員)

答 町の長寿命化計画に基づき、解体費用を採用。実施に向け専門業者に確認し事業を進めたい。(工藤教育次長)

問 中学生夏期英語研修事業について、自己負担はパスポートと小遣いだけか。町のために必要な事業なのか。(宮崎委員)

答 パスポートと小遣いの他、保険等である。最初の事業なのでやってみなければわからない部分はあるが、過度の負担にならないようにしたい。(田邊教育長)

問 スキー場のリフト料金の見直しは。(星川委員)

答 料金に町内、町外の違いはない。利用料金の設定は今後検討する。(田邊教育長)

問 特別養護老人ホーム長寿園の改修した施設と渡り廊下の屋根の破損箇所はどうするのか。(星川委員)

答 平成30年度で補修する予定である。(山内建設課長)

問 中頓別町独自の再任用の給料の基準はあるか。(細谷委員)

答 町の給与表に教育職の給与表はなく、一般行政職の基準はある。(遠藤副町長)

【自由討議】

○ 認定こども園の幼児教育を充実させるべく新しい人材を配置し、内部改革を行いたいという教育長の考え方を理解したい。(村山委員)

○ 認定こども園の組織改革のような特異なことは、事前に内容を協議しながら議会の理解を得て進める必要があるため、早急に協議を行うよう望みたい。(東海林委員)

【討論】

反対

○ 星川委員

園長の採用について、募集の方法等、町の規則が守られない採用は認められない。

○ 佐藤委員

現在の認定こども園の幼児教育が、他に劣るとは思わない。外部人材を投入してまで、職員体制を変える必要はない。

賛成

○ 細谷委員

報酬等問題はあるが、退職後に本町の教育に携わる意欲のある人材を求めることに賛成。

○ 西浦委員

報酬、任用に疑問は残るが、教育の質の向上に向かう考え方に賛成する。

○ 東海林委員

再任用の人材に異論はないが、応募のあり方、採用の方法に問題がある。議会の理解を得るまで予算執行を凍結し、今後の協議を望んだうえで賛成する。

【採決結果】賛成多数で可決

(賛成者) 村山委員、東海林委員、細谷委員、西浦委員

国民健康保険事業特別会計予算

保健師は何名になるか。業務量に合った配置か。(星川委員)

平成30年度は5名になる。今後退職者が出るので、保健師を育成する期間が必要となる。(小林町長)

(自由討議・討論なし)

国民健康保険病院事業会計予算

院長の負担軽減のため医師2名体制を望むが見通しはどうか。また、2名の療法士の給料の詳細は。(東海林委員)

医師の確保については、院長の意向を確認しながら慎重に進めている。医療保険と介護保険で2分の1ずつ計上している。(小林病院事務長)

(自由討議・討論なし)

自動車学校事業特別会計予算

水道事業特別会計予算

下水道事業特別会計予算

介護保険事業特別会計予算

後期高齢者医療事業特別会計予算

(質疑・自由討議・討論なし)

予算審査特別委員会

〔審査意見〕

認定こども園園長の採用のあり方、報酬の決め方について不明な点が多いので、速やかに全員で協議する場を設け、議会の理解を得るまで予算の執行を凍結すべきである。

いきいきふるさと常任委員会報告

いきいきふるさと常任委員会(東海林繁幸委員長)は、所管事務調査を2回にわたり実施し、第1回定例会に報告しました。

1月29日(調査事項)

- 1 介護保険料について
- 2 平成28年度総合計画実施状況
- 3 平成28年度総合戦略実施状況
- 4 道営公共牧場整備事業

審査意見

1 介護保険料の見直し時、増額の幅が大きくなるよう配慮すべき。

2 育成牧場整備については、更なる詳細な説明が必要であり、慎重な計画作成をすべき。

2月23日(調査事項)

- 1 第7期介護保険事業計画
- 2 第5期障がい者福祉計画
- 3 町内工事視察

①特別養護老人ホーム長寿園増改修工事

②教員住宅宿舍新築工事

4 道営公共牧場整備事業

審査意見

- 3 ①建築工事について、建築の専門職員を配置すべき。
- ②教員住宅の入居者に対し、住環境整備の実施に指導を望む。

第1回臨時会結果(1月29日)

平成30年第1回臨時会が1月29日召集され、行政報告の他諮問1件と1議案を原案可決しました。

(行政報告)

一般廃棄物最終処分場の残余容量調査結果について報告があり、残余容量などから埋立耐用年数は平成44年12月と見込みが示された。埋立終了となる5年前までには、次期埋立候補地の選定が必要となる。

諮問第1号 人権擁護委員候補者に対する意見

井野 順子氏(再任)

任期満了に伴い、町長が推薦する人権擁護委員について、議会の意見を求められたことに関して、適任であると答申しました。(任期3年)

平成30年4月1日

平成33年3月31日

議案第1号 職員給与条例(一部改正)

平成29年に勧告された人事院勧告を受けて、給与改定等のため関係条例を改正。

第2回臨時会結果(6月28日)

平成30年第2回臨時会が3月28日召集され、行政報告の他、次の4議案を原案可決しました。

(行政報告)

雪による公共施設の被害状況について、教育施設等で15件と、農業、商業関係等で、23件の被害が報告された。また、中頓別建設協会と災害時の応急対策活動協力の協定締結について報告された。

議案第39号 定住促進住宅の設置及び管理に関する条例(一部改正)

旧職員住宅を改修し、定住促進住宅として1戸追加する。

議案第40号 平成29年度一般会計補正予算

歳入歳出の総額にそれぞれ3千962万円を減額し、予算の総額は35億600万円に。

議案第41号 平成29年度国民健康保険事業特別会計補正予算

予算の組み替えを行い、額の変更はない。

議案第42号 平成29年度自動車学校事業特別会計補正予算

歳入歳出の総額にそれぞれ14万円を追加し、予算の総額は3514万円に。

## 議会の動き

### 30年1月

- 22日 宗谷町村議会議長会定期総会（稚内市）
- 27日 第35回北緯45度しばれまつり
- 29日 第1回臨時会、いきいきふるさと常任委員会（所管事務調査）

### 2月

- 3日 認定こども園生活発表会
- 20日 議会運営委員会
- 23日 いきいきふるさと常任委員会（所管事務調査）  
議会運営委員会

### 3月

- 1日～2日 第1回定例会  
いきいきふるさと常任委員会（付託審査）
- 11日 第1回定例会（サンデー議会）
- 12日 第1回定例会、予算審査特別委員会
- 13日 予算審査特別委員会、中頓別中学校卒業式  
自治記念式表彰審議委員会
- 14日 予算審査特別委員会  
第1回定例会
- 16日 南宗谷消防組合議会（枝幸町）  
南宗谷衛生施設組合議会（浜頓別町）
- 17日 武部代議士・吉田道議・三好道議を囲む新春の集い（稚内市）
- 18日 中頓別小学校卒業式
- 27日 認定こども園卒園式
- 28日 第2回臨時会

### 4月

- 1日 自治記念式
- 2日 認定こども園入園式
- 6日 中頓別小学校入学式  
中頓別中学校入学式
- 10日 議会広報編集特別委員会
- 17日 議会広報編集特別委員会



3月11日サンデー議会開会前、甚大な被害をもたらした東日本大震災から7年、全員で犠牲者に対し1分間の黙祷を捧げました。

## 議員の活動実績と一般質問回数

（平成29年4月～平成30年3月）

議員名	定例会・臨時会		各種委員会		一般質問回数
	出席義務日数	出席日数	出席義務日数	出席日数	
佐藤 奈緒	15	14	18	18	3
長谷川 克弘	15	15	25	24	1
西浦 岩雄	15	15	10	9	1
宮崎 泰宗	15	15	10	10	4
細谷 久雄	15	15	25	24	4
東海林 繁幸	15	14	17	16	4
星川 三喜男	15	15	17	16	4
村山 義明	15	15	17	17	-

（注1）議員名は議席番号順（7番目が副議長、末尾が議長）

（注2）各種委員会は、議会運営委員会、常任委員会、議会広報編集特別委員会、決算審査特別委員会、予算審査特別委員会等を指します。

（注3）一般質問は、定例会（年4回）で行われます。

（注4）一部事務組合議会議員（細谷議員、長谷川議員、東海林議員、佐藤議員）の日数は含まれていません。

## 編集後記

4月に入りだいぶ温かくなりまし  
たが、いかがお過ごしでしょうか。  
「春」という字は、草木の芽が「  
張る」。草木の芽がふき始めるとい  
う意味を持つているのだそうですが、  
生命力にあふれた新しい芽は躍動的  
でもありません。また、春と言え  
ば入学・入園式も行われ、子ども  
新しい出発の季節でもあり、まさ  
希望への動き始めでもあると思いま  
す。地域の宝です。温かく見守りた  
いものです。

さて議会は、「批判・監視の府」  
と言われ、議員は生活環境権を守り、  
質問を通して行政の執行ぶりを批判  
し、事務・事業の管理・議決の執行、  
出納、政策を論じ合い、質し、補い、  
公正にして能率の良い行政を確保す  
るよう、住民の期待に応え、一層の  
地域社会の発展に寄与貢献しなけれ  
ばなりません。住民の声を、どんな  
小さな声もしっかり聞いて、捉えて、  
町づくりにつなげていく、これが議  
員・議会に与えられた使命ではない  
でしょうか。選挙の時だけ顔が見え  
ていれば良いのではなく、いつも見  
えて、声が聞こえて、つながってい  
わかって自分達の代表ということが  
わかってもらえないのでは、いつ  
も最後は町民の皆様方には、いか  
議会だよりをご覧いただき大変あり  
がとうございます。広報編集委員一  
同、心を込めて、見やすく、読みや  
すい紙面を目指し編集に取り組み  
ております。今後は住民の要望、ご  
見取り入れ1年後、2年後を見据  
えた未来志向の議会だよりになれば  
と思っております。町民の皆様のご  
ご要望をお待ちしております。

議会広報編集特別委員会(細)